



# ならエコファーマー通信

奈良県エコファーマー連絡会

第2号

## 奈良県エコファーマー連絡会 消費者交流会を開催 ～エコファーマーの農園にいらっしやい!～

平成20年3月22日(土)、宇陀市を会場に消費者交流会を開催、15名の消費者にご参加いただきました。

宇陀市榛原総合センターに集合し、エコファーマーの制度に関する説明の後、出席したエコファーマー6名より自己PR、環境保全型農業の取組紹介を行いました。



エコファーマー自己紹介

続いて、エコファーマーの農園訪問として、マイクロバスで(有)類農園と田中伸彦さんのほ場を訪れ、経営概要、環境保全型農業の取組について説明いただきました。概要説明の後、(有)類農園では、リーフレタス、こまつな等のハウスやたい肥舎などを見学し、スティックブロッコリーのもぎ取り体験を行いました。

田中伸彦さんのほ場では、ほうれんそう、こまつな、みずなのハウスを見学、ほうれんそう、みずなの収穫体験を行いました。



(有)類農園訪問



田中農園訪問

天候にも恵まれ、実際にエコファーマーの農園で、環境にやさしい農業技術の工夫に触れることができ、参加者に喜んでいただくことができました。また、家庭菜園に取り組んでいる参加者も多く、土づくりや有機質肥料の施用技術などについて積極的に質問されていました。

今回の成果や参加者の声を活かし、次回の交流会につなげたいと考えています。

### 参加者の声 (アンケートから)

- ・楽しい一日でした。大変勉強になりました。エコファーマーの方々の話をもっと深く聞きたい。
- ・エコファーマーの取組や考え方を聞くことができ良かった。こういった催しをPRしていきたい。
- ・大変勉強になりました。地域でこのような努力をされていることは本当に有り難いことだと思います。
- ・エコファーマーの顔が見られ、これからも安心して購入できます。
- ・農家の方と直接意見交換を図り、より積極的に相互理解を深めることができればと思います。

## 環境保全型農業推進講演会を開催しました

平成20年2月15日（金）、農業交流館（橿原市）にて、環境保全型農業推進講演会を開催しました。約150名のエコファーマー、環境保全型農業に関心のある農業者、市町村、JA、県関係機関が参加し、盛会となりました。



開会挨拶

はじめに、JA兵庫中央会・全農兵庫県本部共通機構の吉倉惇一郎技術顧問より「土づくりの基本と上手なたい肥の使い方」と題した基調講演をいただきました。

地力向上に向けたたい肥の施用効果について解説されるとともに、研究結果や事例に基づき、たい肥の連用による窒素供給量を勘案して適正な量を施用することや、施設等で有機質資材を多量に施用している場合、微生物の活性が高まり、微量元素（マンガン、鉄等）の微生物への取り込み量が増えるため、微量元素欠乏に留



基調講演 吉倉惇一郎講師

意する必要があること等の留意点についてご教授いただきました。

講演後、県農業水産振興課から県の慣行レベル及び県持続農業導入指針の改正について説明があり、続いて、「エコファーマーの環境保全型農業取組事例発表」として、大和高原野菜研究会の松本孝志氏（奈良市）、稲葉車瀬梨部会の辰巳昭清氏（斑鳩町）から、それぞれの地域で組織ぐるみで実践されている取組について発表いただきました。

また、県農業総合センターから「エンバクを利用した軟弱野菜のキスジノハムシ対策」、「イチゴの天敵利用の事例紹介」と題して現地事例報告がありました。

会場では、環境保全型農業展示コーナーを設け、エコファーマーの活動事例紹介パネルや、黄色灯・防虫ネットなどが展示され、賑わいを見せていました。



環境保全型農業展示コーナー

講演会終了後、「奈良県エコファーマー連絡会 事業経過報告・検討会」を行い、これまでの活動報告と今後の活動計画について意見交換を行いました。

当日欠席された方で、資料を希望される場合は、県農業水産振興課環境係までご連絡下さい。

### 農産物の取り込み詐欺にご注意下さい！

農産物の取り込み詐欺と思われる被害が全国に広がっています。被害は、インターネットや農産物の包装ラベルで栽培者名、住所、連絡先を公表している農業者や販売業者、安全・安心に取り組む農家などに集中していると報じられています。

農産物の取引にあたっては、十分ご注意下さい。

## 奈良県持続的農業導入指針の改正について

平成19年12月12日付けで、エコファーマーの取組に関する県の指針である「奈良県持続的農業導入指針」を改正しました。

主な改正点は、①「そば（秋型）」、「トマト（促成）」、「やまとまな」の3品目を新規追加、②ホウレンソウ、コマツナ等軟弱野菜の7品目（下記表参照）において化学農薬低減技術に「土壌還元消毒技術」を追加、③水稲において「畦畔除草による病害虫回避技術」を県指定技術から省令技術へ移行した点です。計画更新時や品目追加検討の際にご留意下さい。

改正内容の詳細については、県農業水産振興課環境係又は各農林振興事務所におたずねください。改正後の指針は、県ホームページからもご覧いただけます。

(<http://www.pref.nara.jp/nogyos/5kankyo/eco-farmer/ecofamer-3.html>)

### [主な改正の内容]

① 「そば（秋型）」、「トマト（促成）」、「やまとまな」の3品目の指針を新たに策定認定作物として追加申請できるようになりました。

② ホウレンソウ、コマツナ、シロナ、チンゲンサイ、ミズナ、シュンギク、ネギ（施設栽培に限る）の7品目で化学農薬低減技術に「土壌還元消毒技術」を追加  
畑において有機物を施用するとともに、土壌中水分を高め、資材により被覆した状態を継続する技術を対象として追加されました。

③ 水稲において「畦畔除草による病害虫回避技術」を県指定技術から省令技術へ移行  
計画の認定には、省令技術の取組が必要です。今回の改正により本技術が省令技術としてカウントできるようになりました。

## 第13回環境保全型農業推進コンクール 県内から2団体が受賞

環境保全型農業の確立をめざして、意欲的に経営や技術の改善に取り組む農業者や、農村環境の保全活動を通じ地域社会の発展に貢献している農業者を表彰する「環境保全型農業推進コンクール」（全国環境保全型農業推進会議主催）が行われ、奈良県からは「當麻有機の会」が優秀賞（全国有機農業推進委員会会長賞）、「奈良五條産直組合」が奨励賞を受賞されました。

### 優秀賞（全国有機農業推進委員会会長賞） 當麻有機の会（葛城市）

平成7年に発足、水稲・野菜等で有機栽培を実践。地域資源（近隣酪農家の家畜排泄物、ライスセンターの籾殻）を活用し、共同堆肥舎で野菜に適した堆肥を製造し土づくりを行い、有機栽培の安定化を行った。

また、周辺農業者へたい肥の施用法や農薬に頼らない病害虫防除法を助言し、地域で環境にやさしい農業を推進。ほ場見学や収穫体験、給食材料の提供などを通じて食育の推進にも貢献されている。



代表 永座康全氏

### 奨励賞 奈良五條産直組合（五條市）

昭和60年に関東の生協との柿の契約生産を開始、平成4年にキャベツの減農薬・減化学肥料栽培、たまねぎの無農薬・無化学肥料栽培へと発展。

化学肥料および農薬使用量の上限と使用可能農薬の範囲等を定めた自主基準を設定し、徹底した生産管理を実施している。

また、地域の遊休化した畑地を借り入れキャベツ栽培を行い、農地保全に貢献されている。



益田吉仁氏

## 地域でがんばる! エコファーマー

**正岡 常雄 さん** (宇陀市・認定番号42号)

認定作物：水稲、こまつな、ほうれんそう等 (栽培面積 53a)



正岡さんは、宇陀市榛原区で水稲、ほうれんそう・こまつな等の軟弱野菜、ピーマンなどの果菜類を栽培されています。

大阪市内で青果商を営んでおられましたが、平成8年、定年を契機に自然豊かな土地で暮らし、土に触れる仕事をしたいと考え、宇陀市に1ターンし、有機農業をはじめられました。現役時代に培った流通のノウハウを生かしながら、大阪府内の百貨店やスーパーに出荷されています。

就農当初は、地域の農業者から学び、経験を重ね、技術を習得されました。現在も地域のエコファーマーと連携をとり、さらなる技術向上に努め、たい肥による土づくりを重視するとともに、米ぬかを主体に自家配合した有機質肥料の利用、水稲栽培での米ぬか散布による除草などの技術に取り組まれています。

正岡さんは、「エコファーマーは農業者の立場に立って、環境保全型農業の取組を支援する制度。地域の農業者にもエコファーマーの認定申請を勧めていきたい。」と力強くお話し下さいました。



取引先のニーズを受け栽培を始めたルッコラを収穫する正岡さん

## 奈良県エコファーマー連絡会のホームページ・ブログができました

エコファーマー連絡会の活動をインターネットを通じて広く紹介するために、ホームページを開設しました。

また、会員同士や消費者・流通業者などに対して情報提供や意見交換が可能な自由に意見を書き込むことができるブログも開設しています。

ぜひ一度、ご覧いただき、ブログにコメントをお寄せ下さい。充実した情報発信でより魅力あるブログに育て、消費者にエコファーマーの取組を積極的にPRしましょう。



ホームページアドレス

<http://www.pref.nara.jp/nogyos/5kankyo/ecoren/ecorenhp.html>

ブログアドレス

<http://naraecofarmer.blog23.fc2.com/blog-entry-13.html>

※または、各検索サイトで「奈良県エコファーマー連絡会」で検索してください。

### 編集後記



連絡会を結成した本年度は、環境保全型農業技術の研修会、消費者交流会など試行錯誤し取り組んで参りました。新年度の活動に対するご意見をお寄せ下さい。また、活動紹介「地域でがんばる!エコファーマー」コーナーへの掲載のご希望、こんな情報を掲載して欲しいなどのご意見や記事の投稿もお待ちしています。

発行 **奈良県エコファーマー連絡会**

(事務局 奈良県農林水産振興課環境係)

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 TEL0742-27-7442 FAX0742-22-9521

平成20年3月発行